

新情報提供制度施行に対応し、コミュニティーパテントレビューが開始される

2012年10月18日
JETRO NY 諸岡

2012年9月16日より、改正特許法（America Invents Act、いわゆるAIA）の第三者情報提供制度が施行されたが、当該制度に対応したウェブサイトを用いたコミュニティーパテントレビューが9月20日に開始された。

このウェブサイトは、米国のコンピュータプログラミングのQ&Aサイトでよく知られるStackExchangeという民間企業が運営しており、“Ask Patent”と呼ばれている¹。

レビューの方法は、2007年よりニューヨークロースクールが提供していた“Peer to Patent”²と同様であり、利用者は同ウェブサイトには先行技術の有無を検討したい特許出願を投稿し、これに対し、他の利用者が先行技術情報を提供するもの。

先行技術情報を提供しても何らかの金銭的報酬が得られることはないが、ウェブサイト上でバッジが与えられるといった、「ネット上での名誉」をインセンティブとしている。

ネットでの記事³によれば、このウェブサイトの開始にはGoogleも関わっている⁴とされ、また、USPTOも関与している⁵とのことである。

¹ [Ask Patent サイト](#)

² 2011年12月にて終了している（コメント期間含む）。ただし、[サイト](#)はまだ残されている。

³ [9月20日付 Wired](#)

⁴ 将来的には、投稿画面に Google patent のリンクを貼ることを想定していると思われる。現時点ではそのような機能は発見できない。

⁵ 最終的には、当該サイトから直接 USPTO の情報提供システムにリンクすることを考えていると報道にあったが、現在では、本当に有用な文献が発見された場合は USPTO の第三者情報提供制度を利用することを推奨するに留まる。また、USPTO も [プレスリリース](#)にて、当該サイトの開始を歓迎している。

また、別のネット記事⁶では、多くの専門家が先行技術調査のために多くの時間を割くとは考えられないとして、その有効性に疑問を呈しつつも、質の低い特許のクオリティを上げるためには、このような方法くらいしかないと述べている。

(了)

⁶ [9月20日付 Ars Technica](#)